

2021年 7月 5日発行 第189号

N.P.O.

Global SOROBAN Institute

Seminar Report

通称:N.P.O.法人 I.M. そろばんセミナーレポート

Think with SOROBAN



発行 N.P.O.法人 I.M.そろばん

～ も く じ ～

巻頭言	1
検定試験について	4
サイコウのまなび	5
ハワイからの便り	6
合同練習会「感想文」	7
事務局だより	12

巻頭言

初心を忘れないで

NPO 法人 Global SOROBAN Institute(IM そろばん)は 2005 年 7 月に設立されました。2021 年 7 月で創立満 16 年を迎えました。この区切りを機会に IM そろばん創設の趣旨を考えることも意味あることと思います。IM そろばんは、荒木勲のそろばん教育の理念に基づいて設立されました。

江戸時代には、“読み・書き・そろばん”教育が庶民の間には広がっておりました。実学中心の知恵を育む教育でした。一方、武士を中心とした人々は藩校等で学んでおりました。藩校等では古典教養教育中心の教育が行われておりました。働くことを蔑視しがちな、知識偏重教育でした。

明治以後の教育は、藩校の流れを汲むものが中核になりました。その結果、“読み書き”は残りましたが、“そろばん”は教育から外れました。それを良しとしない人々がそろばん教育を残す努力をしました。その大きな流れの一つが、伊勢百日算です。百日間合宿をして、そろばんを学んだのです。“読み書きそろばん”の流れを汲むものでしたから文章題も指導されておりました。

各地でそろばんを、子どもたちに教えることを求める動きがありました。地方によってはそろばんが初等教育で指導されました。しかし初等教育の教員養成をしていた師範学校では、そろばんの指導法は教えられませんでした。

初等教育以外では、一部の実業学校でそろばんが指導されることがありました。青年学校や実務女学校などです。そこでそろばんを指導したのは師範学校や大学などで学んだ先生ではなく、そろばん指導だけのために採用された方々でした。そこでは“読み書きそろばん”ではなく、“そろばん”だけが指導されました。

師範学校などで教員免許を取得しないでそろばん指導をされていた先生方は、学校において自己の存在価値を認めってもらうために、他校等との珠算競技会で良い成績を残すことに熱中されました。教育的観点から、子供たちの将来にとって大切であると考えて競技会に熱中したのではないのです。勤務校内での自己保身のために競技会に熱中したのです。

昭和 10 年代に義務教育でそろばんを必須にすることに尽力された、当時の文部省の塩野直道先生は、そのようなそろばん指導者の現状を嘆いておられました。そのまま、敗戦を迎えたのです。

戦後 GHQ は、そろばんは考える力を育てず鍛錬が必要なものであるから、学校教育から排除するという姿勢を取りました。明治初期の学校教育に戻ってしまったのです。当時の世間は子供たちにそろばんを教えることに期待していましたから、社会教育のそろばんを指導する私塾は繁栄しました。

“読み書きそろばん”を指導していたのではありません。そろばんでの計算方法のみを指導していたのです。当時は、電卓などが一切ない時代です。計算が早く正確にでき

れば、学校教育の場でも日常生活の場でも誠に重宝した時代です。まして暗算が得手であれば、なおさら良かったです。しかしながら、教育的見地に立って、子供たちの将来を慮ってそろばんを指導していたのではなかったようです。

戦後そろばん塾が隆盛な頃、珠算検定試験受験者は非常に多かったです。しかしながらその受験料収入はすべて主催者である商工会議所に入り、子どもたちの教育には一切使われていませんでした。そのことを京都の荒木勲が指摘しました。すると会議所は当時中央委員をやっていた荒木勲を罷免しました。

やむを得ず、荒木勲は未来を担う子供たちの教育に資するそろばん教育を目指した珠算教育団体を設立したのです。『全国珠算教育連盟』です。団体名に“教育”の名が冠されました。そこで実施された検定試験の案には“文章題”が入っていました。しかし、塩野直道先生が危惧されていたとおり、競技会こそがすべてであると考えている方々は、“文章題”は不必要で、“乗・除・加減・伝票算”に暗算を加えるべきであると主張しました。高等学校商業科の生徒さんには“暗算”は無理かもしれないから、代わりに文章題を入れるということになりました。“文章題”“暗算”の審査後選択制が導入されたのです。

そろばんを指導していた方々の多くは、教育者として、“読み書きそろばん”の有用性が全く理解できなかったのでしょうか。日本の未来を担ってくれる子供たちを育てるためのそろばん教育を考えずに、とにかくスピードを求めたのです。荒木勲は“文章題”か“暗算”どちらかにするのであれば迷わず“文章題”であると常に申しておりました。

未来を担ってくれる子供たちの教育の基本は、“読み書きそろばん”なのです。江戸時代にこの教育がなされていたから、明治以後の近代化に貢献出来る優秀な働き手が十分に育っていたのです。全く新しく近代化された社会になっても、身に着けている知識をうまく組み合わせ、自分の力だけで考えることのできる知恵をしっかりと備えていたので、今まで教えてもらわなかったことばかりでも、生き続けることが出来たのです。“読み書きそろばん”教育のお蔭であったのです。

昭和30年代の出来事です。ある全国的な競技会で、会場を見回っていた係員が、不正をしている選手を発見して、摘発しました。それを見ていた会場二階の観覧席にいたその選手の指導者が、血相を変えて会場へ侵入してきて、不正を摘発した係員を突き飛ばしました。その不正行為をやりなさいと、その選手に指導していたようです。荒木勲はこの出来事に非常に心を痛めておりました。

勝つためには手段を択ばないような指導は、もはや教育ではありません。不正を押し付けられた選手、生徒はどのような思いだったのでしょうか。未来を担ってくれる子供たちにそろばんの教育をやってきたはずなのです。子供たちに深い心の傷跡を残してまで、競技会に勝たねばならないのでしょうか。

百メートル走を10秒切ることは素晴らしいことです。しかしその結果を得るために不正をしては何にもなりません。一生懸命に努力をすることは尊いことです。しかし、すべての子どもたちに100メートル走を10秒切るように走ることを指導するのは、全く必要のないことです。生き続けるために必要な程度の短距離走を、すべての子どもたちに指導することとは全く異質のことです。

角兵衛獅子の親方が、角兵衛獅子の子どもたちに芸を教えるのは教育ではありません。訓練です。その子供の将来を見据えてのものではないです。より難しい芸をやれば儲かる

から教えるのです。暗算こそがそろばんの真髄だと考え“読み書きそろばん教育”に向きもしない方が多々おられます。暗算を身に着けることは素晴らしいことですが、未来を担ってくれる子供たちへの教育の目的ではないのです。

競技会に力を入れると、暗算指導に力を入れます。暗算をすれば脳を使うから、脳の活性化に良いと考えられています。確かにそのようですが、暗算力が高くなると、脳を使わずに脳の手前の延髄あたりで、計算の処理を終えてしまっているようです。脳を使わずに本能的に反射神経だけで計算をしてしまうということのようです。生きていくのに必要な脳の発達に資さないというわけです。

今日の社会では、計算力は期待されていません。それでもスピードを目指すのは、短距離走を10秒切ることを目指しているようなものです。素晴らしいことではありますが、すべての子どもたちに期待されることではありません。今一つは、計算力の素晴らしさを見せることを目指しているようです。子供たちの目の健康には非常に悪いといわれていてもフラッシュ暗算をしているのも、一種の見世物です。角兵衛獅子と同じです。日本の未来を担ってくれる子供たちのための教育とは程遠いものです。

そろばんの団体は数多くありますが、それぞれ創立の趣旨があります。しかし、構成員のための活動が中心になっていることが殆どです。そろばん教育のための団体であったのに、そろばん指導をする教室などの経営者のための団体になっていることが多いです。ですから、日本の将来を担ってくれる子供たちのための活動で無く、塾経営に役立つ活動を、何の恥も感じないで行っています。

自分の力だけで考えることができる子供、知恵ある子どもを育てることが、そろばん教育の目的です。“読み書きそろばん”教育なのです。それを現代に具現化したものが、IMそろばんの検定試験なのです。この検定試験の受験者を増加させることこそが、IMそろばん創立の趣旨に最も合う活動といえるのではないのでしょうか。IMそろばんの研修会や競技会等の後で感想文を書いてもらうのは、この“読み書きそろばん”教育の一環なのです。

日本の一流の選手の中には、日常的な常識に欠ける方が多かったのを、荒木勲は嘆いておりました。ですから、「そろばんができる子ども」ではなく「そろばんもできる子ども」を育てたい、と荒木勲は常々申しておりました。これも、“読み書きそろばん”教育の考え方の一環であるのです。

京大で関わっていた学科は理科系でした。大学の二次入試の科目は、ほとんどの理科系の学科は数学と理科でしたが、私の関わっていた学科は数学と国語でした。国語の文章読解能力なども理科系でも重要であると考えていたのです。無駄を省いて効率を追求するIT教育では、絶対に手に入らない能力なのです。

IMそろばんの研修会で10分間読書をしたことがあります。“読み書きそろばん”教育を充実させるために、教室でも、時折、10分間読書をされることをお勧めしたいです。

教育の成果は何十年か先で無いと現れないです。今すぐ目の前に現れる結果に惑わされず、IMそろばんの原点に立って、初心にかえり、本気で、日本の将来を担ってくれる子供たちのためのそろばん教育に、真摯に取り組みましょう。

理事長 荒木 光 (京都教育大学名誉教授)

<http://plaza.rakuten.co.jp/honkideeco> (2021.7.)

Think with SOROBAN

第70回考えるそろばん検定試験施行日は8月15日（日）です。

試験日 令和3年8月15日（日）全国 一斉
試験会場 IM会員教場・公共施設
申込期間 令和3年7月26日（月）～8月2日（月）
申込方法 所定の申込み集計表に必要事項を記入の上、ファックスまたはEメールにてお申込みください。

I.M.そろばん検定部 FAX：0297-86-6033

Eメールアドレス：im-kentei@imsoroban.com

受験料 8月3日（火）までに下記口座にお振込みください。

NPO法人 I.M.そろばん検定部

ゆうちょ銀行 10300-49758291

◆申込集計表等一式を配布いたします。検定の日程を確認の上、お申し込みください。

次の考えるそろばん検定試験日程

第71回	2021年10月24日（日）
第72回	2021年12月19日（日）
第73回	2022年 2月27日（日）
第74回	2022年 4月24日（日）
第75回	2022年 6月26日（日）
第76回	2022年 8月21日（日）

※検定試験の前には模擬問題練習が有効的です。

※検定試験問題見本のページは一通りご紹介させて頂きました。これからは是非模擬問題をお試し下さい。模擬問題はI.M.そろばん検定部、又は事務局へ電話・メールにてご用命下さい。

サイロウのまなび

発展と対策はたちごっこ

【世の中がどんどん便利に②】

前回、一昔前のコンピュータウイルス（以下、同様にウイルス）の対策の話をしました。今回はその続きです。

一昔前ってどれくらい前かというところ…大体15年くらい前ですね。iPhoneが発売されて、ガラケーからスマートフォンに移行し始めたころです。このころになると、ファイルをダウンロードするというのが少なくなり、アップルストアや、グーグルストアなどの審査を通過したアプリケーションをダウンロードしてくるという方法が主流になり、前回紹介した.exeファイルに忍び込ませるといった方法が有効ではなくなってきました。一方で、パソコンは何かを検索するときには使っていないが、ガラケーは使っていたという層がスマートフォンを手にしたことで、インターネットの需要が爆発的に増加し、多くの人にとってインターネットが何かを調べるための電子百科事典でしかない時代が終わりを迎えたとき、ワンクリック詐欺などが横行し始めました。

【正確にはウイルスではない】

ワンクリック詐欺の目的は「ウイルスで悪さをすると脅しをかけ、金銭または金銭につながりうる情報を得る」ことにあります。手口は次の通り。

- ① 広告などから警告画面を表示させる。
- ② 警告に従って金銭を支払う契約に同意させようとする
- ③ 同意したら金銭、しなければクリックした先がウイルスファイルのダウンロードURL
- ④ ダウンロードしたファイルをインストールするように仕向ける警告画面を表示させる。など。

ストアが機能していると、成人向けのコンテンツを含む、青少年に有害であると判断される内容はダウンロードできないこととなります。そこで、各種広告にリンクを紛れ込ませて不意打ちをしてきます。特にアダルトサイトなどは他人に相談しにくく後ろめたさから支払ってしまうケースが多いようです。

前回同様、ウイルスが悪さをしようとするには、生息するためにインストールする必要があります。そのため、もし広告が急に表示されても焦ることはありません。99%無視で問題ありません。

最後に、ウイルスではありませんでしたが、私が過去に被害を受けたことがありました。それは、Facebookのメッセージ機能を使っていた時のこと。フォローしている人からあるリンク付きのメッセージが来ました。開いてみると、その時ログインしていた私のフォロワーさんに、自動的にリンク付きのメッセージが表示されるというもの。アプリケーション内では悪さできるヤツもいるのでご注意ください…。信頼できるサイト以外のURLはクリックしない！



ハワイからの便り



日本でそろぼんをガンバっている皆さんへ

こんにちは。7月ですね。あともう少しで夏休みに入ります。今からワクワクされていることでしょう。

前回のお便りでもお伝えしましたが、ハワイの子供達は6月から夏休みに入っています。夏休みは学校の一年が終わってからの休みなので、日本の皆さんの春休みにあたります。つまり宿題がない休みなのです。これが約2ヶ月あります。羨ましいでしょう！

では、ハワイの子供達はこの2ヶ月の休みをどのように過ごしているのでしょうか。

そろぼんに通っている多くの生徒は、「サマースクール」というものに通っています。夏休み中に開講されているいろいろな特別プログラムに参加します。アメリカ本土の大学のプログラムに学校見学も兼ねて参加する生徒もいます。プログラムは様々です。新学年に上がった時のための予習、前学年の教科の復習、文章能力や表現能力の上達や向上、高校生の中には、新学年でとるべき授業がサマースクールで提供されていれば、このサマースクールで単位を取ることができます。SATという大学入学共通テストやSSATという私立の小中高校の入学共通テストのためのクラスを取る生徒もいます。その他マジックや水泳、テニス、ゴルフ、楽器、美術、実験、タイプを速く正しく打つためのクラスもあります。期間は、3週間と6週間があります。

大嶋先生もイオラニスクールという私立の学校で午前中「そろぼん」を教えています。この学校は出席が厳しく、理由のいかんに関わらず授業を4回欠席すれば単位や評価（通知表）をもらえません。服装規定もあります。もちろんコロナ禍ですので、先生も生徒も全員マスクは着用です。ですからサマースクールといっても遊び半分で来ている生徒はいません。皆真剣ですよ。

大嶋先生は、以前、アメリカの夏休みは新学年が始まる前の休みなので、皆気軽に過ごしていると思っていましたが、ハワイの生徒はけっこう忙しいようです。そうそう、そろぼんに通っている生徒の中には、日本国籍を持っている生徒に限られますが、この時期に日本へ行って、日本の学校に一時入学をする生徒もいます。皆さんのクラスに、この6月、7月にハワイや海外から来たお友達はいませんか。

ARAKI HIROYA SOROBAN SCHOOL
PRINCIPAL 大嶋 秀明

第二回合同練習会&記録会 『感想文』

■ I.M. そろばん 第2回オンライン合同練習会のご報告

7月3日(土) 9:15~12:30、各教場 ZOOM オンラインにて開催されました。千葉県、埼玉県、茨城県の5教場が集まり、9月に開催される小学生大会に向けての合同練習ということで、子どもたちは画面越しの交流を楽しみました。



千葉県 プラントル愛和エリザベス (小2)

155てんをとれてよかったです。うちもみんなものしくできたし、ちょっとはできてよかったです。

おかしをもらえて、よかったです。

千葉県 小別當陽菜 (小3)

ほとんどできななかったけど、1かいめよりてんすうがあがっててうれしかったです。ゲームもおもしろかったし、きてよかったですとおもいました。

はやくほんばんがくるといいなと思いました。

千葉県 栗山 彩音 (小4)

がんばったし、たのしかった。とくにかげざんをがんばりました。あとゲームがたのしかった。それで、前きたときより、たのしくてがんばれたのでうれしいです。

千葉県 菅 星龍 (小3)

前回よりは点数があがりました。全部楽しかったです。とくに一番点数があがったのはかけざんとかげん算でした。それとゲームはクロスワードをしました。とにかく全部楽しかったです。それとコロナじきでもこんなかんじで(オンライン)できてよかったです。あとこんなかんじでけいけんが2回もできるなんてうれしいし、楽しいので3回目もさんかできたらうれしいです。とにかく楽しい1日でした。

千葉県 坂本 美遥 (小5)

今回は第2回目で前回とあまりかわらなかったけど楽しかったです。でも、かけ算がうまくいったのでよかったです。文章問題はもうすこしががんばりたいと思います。今日は楽しかったです。

千葉県 鈴木穂乃可 (小5)

楽しかったし、おもしろかったです。

3年生はこの記憶はあまりなかったし、今回初めてだったのでなにをやるか忘れていたけど、まあまあできました。

金賞やぎんしょう、かんたんかと意外と思っていたらどう賞もとれず、あまく見すぎていました。

文章題が50点としょうげきすぎたので、もうちょっと頑張ろうかと思っています。

西日本いこかというのは訳が分からず、笑っていました。

ゲームはたのしかつたし、英語聞き取り算がなくなって嬉しかったです。

千葉県 浅井 晴昭 (小5)

今回ぼくは、2回目の出場でした。ぼくは、水泳に行ったあとだったのでとてもねむかったのですが、こ人的にはがんばれたと思います。クロスワードゲームで答えられてしまったのはくやしかったです。結果は前回よりは点数がのびたけど1年生の子に負けて少しふくぎつな気持ちでした。だけど楽しかったのでよかったです。

千葉県 石井 朋来 (小6)

600点にたどりつけなかった笑。加減算が終わってた泣笑。文と加減が終わってた笑
(文=40) クロスワードが簡単だった650めざすぞおーGoGo
休み時間の鬼ごっこが楽しかった一笑

埼玉県 輪島 季子 (小6)

今日の練習会は、お菓子も、かけ算と点数もとれたので、すごくよかったし、そこそこ楽しく感じられました。かけと、わりは、最初よりすごく点数上がったので満足しているけれど、見取り、文章題は、自分自身あまりよくないな、と感じました。あれない程度に次はいっぱい練習をして目標は高く、銀賞を取れるように、それができなくても、700点を取れるようにしたいと思いました。

クロスワードもととても楽しかったので、今日、荒れることなく平和に過ごせたな、と思いました。

埼玉県 寺谷 諭人 (小4)

みんなでゲームでお菓子を2つももらいました。でも、前回より点数が落ちてしまって悲しかった。休み時間に、ほかの教室の子とじゃんけんしました。

かけ、わりがれんしゅうの時より問題数が下がってしまったけれど英語の暗算の読み上げで全て割り算は答えられました。

埼玉県 清水めぐみ (小3)

日本語聞き取り暗算がどれもむずかしかったです。オンラインがまたあったらがんばりたいです。

これからもたくさんべんきょうしてがんばりたいです。これからもそろばんを習いつづけて、だんいにいけるようにがんばりながらべんきょうをがんばりたいです。

埼玉県 山崎 あこ (小2)

むずかしかったです。あってるといい。こんどいくときもがんばりたいです。

こんどはてんすうをあげたいです。てんすうをあげてきゅうとかをうかって、だんとかいきたいです。べんきょうをがんばりたいです。

埼玉県 大澤 万依 (小3)

さい後のゲームが楽しかったです。理由は「分かんない」と言ってた子もいたけど、私は、分かったからです。後、えい語聞き取りあん算がむずかしかったです。2問しかあたらなくてかなしかったです。9/20の3回もチャレンジしたいです。

埼玉県 杉原 泰河 (小5)

文しょうだいをひさびさにやってむずかしかったけど、ステップ16とかにむけて、がんばりたいです。点数が100点いじょうのびてうれしかったです。

大会では、ぎんしょうをとりたいです。

ゲームは、はじめてやったゲームなのでたのしかったです。

埼玉県 小石 麗 (小6)

むずかしかった。点数が低かったので、家でも練習したいと思いました。

クロスワードは、ひさしぶりにやったけど、頭を使うゲームだったので、ボードゲームなどとはまたちがう楽しさがあって良かった。

埼玉県 岡島 羽海 (小6)

文章題を前より多くかけた。日づけ算などをもっととけるようにしたい。英語のききとり算をもっとはっきり聞き取れるようにしたい。

ゲームのクロスワード。もう少しむずかしい方がいい。でも、楽しかった。

埼玉県 福島 千洋 (小6)

前回より楽しかった。銅賞まで少し届かなかったが、前回よりかなり上がっていた。

次回(本番)では銅賞がとれるようになりたい。最終的には金賞をとりたい。

ゲームは新しいゲームでもっと楽しくなっていた。

埼玉県 ト部智代子

今回2回目の合同練習に参加させて頂き、実力は別として生徒と子供に感謝しております。2回目も立ち上がりに少々時間がかかりスタートを遅らせてしまい、すみませんでした。進行は先輩のハツラツとし、更に手際の良さで助けていただき安心して参加することが出来ました。子供達はいつも楽しそうにやっていますが、I.M.式の練習ができて居りませんので、9月にはI.M.式の学習指導をしっかり行うことが大事だと実感しました。

又、参加賞はなくても良いのではと思っておりましたが、やはり、子供たちが喜ぶ姿を見ると、参加賞も必要だと思いました。

準備から当日、担当して下さいました先生、ありがとうございました。

埼玉県 関根 由季

今回は当教室からの参加者が少なかったのですが少ないながら参加の生徒は頑張りました。6年生で今回初参加の生徒は周期算練習に取り組みました。まだまだ練習が足りない部分もありますが、9月には力をつけて、又、挑戦してくれることを楽しみにしています。今日の体験を活かして自分自身でも目標を持って頑張ってくれることでしょうか。多くの生徒さん達にもこうゆう機会を通してたくさんの「わかった！できた！」を体験して成長して行ってほしいです。楽しいゲームも考えて頂きとても良かったです。準備等1回目に続き色々有難うございました。9月宜しくお祈りします。

千葉県 菅 幸子

第2回の合同練習会は、練習時間としてはなかなか取ることができませんでしたが、第1回に続き2回目も挑戦した子どもたちは、点数上がった！とか、他県の皆さんとオンラインでも交流が出来ることに喜んでいました。生徒の中には午前に合同練習会、夕方には通常の練習で教室に来て、もう一度練習会の問題を解いてみたいとはじく姿がありました。その結果について、ああだこうだと分析してみたりする小学生の姿は立派だなと感心しました。今回は2回目とのこともあり進行もすばらしくスムーズに行えたことに感謝致します。9月本番小学生大会を楽しみにしています。

埼玉県 山本亜季子

今回も事前の打ち合わせ等、準備の段階から大変お世話になりました。第二回目の合同練習会も無事に実施され終了することができ本当に良かったです。ありがとうございました。また、9月の大会に向けて宜しくお祈りいたします。

事務局だより

I.M. 会員・関係者の皆様へご報告申し上げます

平成17年2月より、長期にわたり当法人、『グローバルそろばんインスティテュート』の正に立役者としてご尽力いただきました「猪熊 建夫様」より、この度、ご自身の仕事に力をご投入なさるご用件にて、繁忙の御時を迎えられた旨、のお言葉が届けられました。

当会としましては、猪熊様よりご助言を賜り、社会の信頼を得ながら、珠算界では、N.P.O. 法人の制度を一番に取得致し、その後は会員共々、ここまで信頼を得る法人として運営をさせて頂きましたことは何物にも代えることのできないご恩であります。ご指導を賜りましたことによる珠算教育者の会を、今後も社会に対し、恥じない「I.M. そろばん会員」が、生徒・保護者・珠算に関わる仲間と共に、まだまだI.M. そろばんの発展に力を尽くし、当初の目的を追い続ける所存です。会員の手によって辛抱強く、気を長く持って、日本中にI.M. そろばんを浸み込ませます。

猪熊先生！ご指導賜りまして誠にありがとうございました！

2021年 7月吉日

N.P.O. 法人 I.M. そろばん理事一同

【 I.M.セミナー開催 】

■ I.M. 第二講座「Step2・Step3」を開催します

解 説 Step-2 0～2の段の九九

Step-3 10の合成分解

※前回 Step3.5 とご案内しましたが Step2.3 へ訂正致します。

※その他、I.M. 授業の報告会

日 時：7月15日（木）10時～12時

会 場：ZOOM オンラインにて

講 師：I.M. 公認講師 関根 由季先生

■ N.P.O 法人 I.M. そろばん通常総会のご報告

2021年7月3日（土）ZOOM オンラインにてN.P.O. 法人 I.M. そろばん通常総会を開催いたしました。出席者8名委任状9名にて議案の可決とさせていただきます。ご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございました。別紙にて総会資料のご確認をお願い申し上げます。

■伝統高校100東日本、西日本

I.M. そろばん会員・関係者様へ、特別価格にてご提供いたします。
猪熊建夫先生ご執筆の、「伝統校100東日本」「伝統高校100西日本」
各定価1800円を2冊セット致しまして、2200円（消費税・送料込み）でご購入
いただけます。

先生方の知識として、また受験の生徒さんへ向けてのアドバイスに活用して頂けます。
教室の本棚にあれば生徒の保護者様にも手に取ってもらえるでしょう。



全国各地の伝統高校—そこからは数多の有為な人材が生み出されてきた。ノーベル賞受賞者も地方の伝統高校で育ったのだ。伝統高校とは人材の大きなゆりかごなのである。本書では東日本、西日本の伝統高校100校を取り上げる。

※購入方法 im@imsoroban.com まで、住所、電話番号、お名前、購入数をご連絡下さい。

●お振込み先 00150-1-167246 IMそろばん

発 行	N. P. O. 法人 I. M. そろばん
発 行 日	2021年 7月 5日
発 行 人	荒木 光
企画・編集	山本亜季子
発 行 所	〒274-0806 千葉県船橋市二和西6-17-17
TEL	047-449-7765
FAX	047-447-3893
	E-mail: im@imsoroban.com
	URL: http://www.imsoroban.com